

令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催

令和6年（2024年）3月30日

3月18日、在チリ日本国大使公邸において、令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。2月23日に天皇陛下が64歳の誕生日を迎えられたことを祝賀し開催された同レセプションには、チリ政府、議会、経済界、日系社会、教育・文化関係者、外交団等、多岐にわたる分野から570名にのぼる出席がありました。



伊藤大使によるあいさつ



バン・クラベレン外相の来賓祝辞

伊藤大使は、あいさつの冒頭、天皇陛下の御誕生日を祝うとともに、年始に能登半島で発生した地震とバルパライソ州で発生した大規模な森林火災という自然災害の犠牲者とその遺族への弔意・連帯を表明しました。また、チリと日本は、民主主義、法の支配、人権、自由といった基本的価値を共有する戦略的パートナーであり、政治、経済に留まらず多岐に亘る分野で協力関係の強化が見られることに言及し、両国の友好関係の更なる進展に向け官民一体となって取り組んでいくことを確認しました。

また、チリ政府を代表して祝辞を述べたバン・クラベレン外相は、チリと日本が有する長年にわたる緊密な友好関係を強調し、両国関係の更なる強化・進展のために協力していくことの重要性を強調されました。



レセプションでは、バン・クラベレン外相のほか、フレイ元大統領や智日友好議員連盟の両院議長、中央日本人会会長などと共に鏡開きが行われ、天皇陛下と日チリ両国、そして出席者の健勝が祈念されました。

なお、会場では、公邸料理人による日本料理や、たこ焼き、ラーメン、焼き鳥、寿司、日本酒、日本産ウイスキー等が振る舞われ、大変好評を得ました。また、チリに進出している日本企業のバイクや車両等の展示や、日本の魅力を紹介するプロモーション・ビデオも上映しました。

